

1 単元のデザイン

本単元の目標

○昔の西条小学校や、古くから伝わる西条の行事について調べることを通して、西条の町に愛着をもつとともに、西条の町に関わる人々の思いに触れることで、西条の町を自分たちが支えていこうという意欲をもつことができる。

児童について

本学年の児童は、毎年3年生が学習発表会で学校や地域の歴史について発表する劇を見ており、自分達が発表することを楽しみにしている。しかし、西条の歴史や行事、それにかかわってきた人達についてはほとんど知らない。そこで、西条小学校にかかわる人々や、町の行事に携わる人々の思いに触れ、学校や町に誇りや愛着を育てることができるよう、本単元を設定した。

本単元で身に付けたい資質や能力及び態度

【課題発見力】

- ・昔の西条小学校や町の様子を現在の様子と比較し、違いに気付いて疑問や驚きをもつ。
- ・昔の西条小学校への疑問や発見を比較・分類して調べたいことを考える。

【追求力】

- ・昔の西条小学校にかかわりのある人物について、資料やゲストティーチャーから進んで情報を集める。
- ・集めた情報を関連付けて、西条小学校や西条の町への、人々の思いや願いを考える。
- ・西条小学校や西条の町にかかわる人の願いや思いを探り、それを知らせるために、友達やゲストティーチャー、地域の人と協力する。

【評価力】

- ・西条小学校や西条の町への思いの変容について考え、西条の町の一員であることを自覚し、自分の成長を自覚する。
- ・西条小学校や西条の町への愛着を深め、よりよくしていこうという心情を育てる。

教材について

西条町は、江戸時代に四日市という宿場町として栄え、その後は商業や醸造業も発達し、酒どころとして有名となった。しかし、町民は、町を愛する気持ちに乏しく、町としての統一性に欠けていた。さらに町の政治問題により、町民も二つに分かれて争い、行政も行き詰まっていた。西条の町を改革するために、まずは学校を変えようと、檜高憲三校長先生が西条独創教育を始め、その願いや思いは今も受け継がれている。また、「西条盆踊り」は、昭和4年に始まり、二度の中断を経ながら、現在に伝わり、町の人々の楽しみとなっており、西条小学校の伝統であるオペラ「白壁の街」でも使用されている。しかし、テレビやゲームなど娯楽の変化により、参加人数は減少し始めている。

本単元では、独創教育を始めた檜高憲三校長先生の取組と、現在も続く地域の行事「西条盆踊り」について取り上げる。西条小学校の歴史を知ることは、西条小学校への誇りや愛着を育てることに繋がり、よりよい学校にしていこうという意欲を高めることにも繋がる。また、地域の行事に触れることで、西条の町を支えてきた人々の思いを知り、自分たちも西条の町を支えていこうという意欲を高めることにも繋がると考える。

指導の手立て

本単元は、二つの小単元に分けて学習を進める。本単元の「課題の設定」で、社会科の校区探検と絡めて、御建神社の石碑、御建グラウンド（旧馬場）、旧西条小学校跡地に出合わせ、調べたい内容を「檜高校長先生（小単元①）」と、「馬場で行われていた盆踊り（小単元②）」に焦点化する。

小単元①では、「情報の収集」として、檜高校長先生の孫である檜高明子先生に昔の西条小学校の様子や、檜高校長先生の取組について話を聞く。「整理・分析」では、檜高明子先生の話で得た情報や、エピソード体験を通して分かったことをイカチャートで整理し、檜高校長先生は「どんな子に育ってほしかったのか」という視点で分析することで、檜高校長先生の思いは現在の西条小学校の先生や児童の中に受け継がれていることに気付かせる。小単元②では、校区探検の二つ目の疑問である西条盆踊りについて調べさせる。町を一つにしたいという檜高校長先生の思いから始まった盆踊りが、今の白壁の曲にも使われているという事実、二度の廃止を乗り越えて町の人たちの熱い思いから再び復活したにもかかわらず、今また参加者の減少に悩まされているという事実から課題の設定を行う。盆踊りに興味をもち、多くの人に参加してもらうという思いの実現に向けて、全国の取組と関連付けて取組を考え、必要に応じて再調査を行ったり、準備をしたりする。実行として、学習発表会で盆踊りについてを劇にしたり、保護者を呼んだ西条小盆踊り大会を実施したりする。

2 単元の評価規準

評価の観点		評価規準
知識及び技能		① 西条小学校や西条の町の歴史やそれらの発展を願う人々の思いが分かっている。 ② 昔の西条小や、西条盆踊りについての情報を比較したり関連付けたりしている。
思考力 判断力 表現力等	課題発見力	① 駅裏時代の西条町の話を知りたり、体験したりして、疑問や驚きをもっている。 ② 多くの人に盆踊りの魅力を知ってほしいという思いから、魅力を効果的に伝える方法を考え、学習計画を立てている。
	追求力	③ 昔の西条小学校にかかわりのある人物や学校の様子について知りたいという意欲をもち、ゲストティーチャーや資料から進んで情報を集めている。 ④ 集めた情報を関連付けて、西条小学校への人々の思いや願いを考えている。 ⑤ 集めた情報を視点に沿って比較し、伝える方法や内容を考えている。
学びに向かう力 人間性等	追求力	① 調べた内容や西条小学校への自分達の思いを多くの人に伝えるという目的を実現するために、友達と協力して活動している。
	評価力	② 西条小学校や西条の町への思いの変容について考え、西条の町の一員であることや、自分の成長を自覚している。 ③ 西条小学校、西条の町への愛着を深め、よりよくしていこうという心情をもっている。

3 単元構想図（単元計画と評価）

本単元の学習の流れ（全 52 時間）

○ふるさと西条物語 ～檜高校長先生編～（15）

課題の設定

- ・ 校区探検で、昔の西条の町や西条小学校の話を知る。
 (2)【思①】
- ・ 「わたしたちのまちのようす」
 【社会科】
- ・ 昔の西条についてどんなことを調べたいか考える。
 (1)【思②】

情報の収集

- ・ ゲストティーチャーに来てもらい、檜高校長先生の人物像や駅裏時代の西条小学校について聞く。
 (2)【思③】
- ・ エピソード体験をし、感想を伝え合う。
 (3)【学①】

整理・分析

- ・ エピソードから、檜高校長先生が、どんな子を育てたかったのかについて話し合う。
 (3)【思④】
- ・ 檜高校長先生の思いを考え、現代の西条小学校と繋がる思いについて話し合う。
 (1)【思④】【知②】
- ・ 檜高校長先生のエピソードの中で、学習発表会の劇で伝えたいもの考える。
 (2)【思⑤】

振り返り

- ・ くつろえ、西条あいさつ、無言掃除などの活動を続けて行う。
 (常時)
- ・ これまでの学習を振り返る。
 (1)【学②③】

独創スピリッツを引き出す工夫

【課題の設定】

- ・ 校区探検でもった疑問や発見を分類して、
 ①「檜高校長先生の取組」②「馬場で行われていた盆踊り」の二つに焦点化し、課題を設定する。
 (課題発見力)

【情報の収集】

- ・ エピソードを実際に体験し、様々な感想をもつことで、「整理・分析」の際に、檜高校長先生の思いを知るための手立てとする。
 (追求力)

【整理・分析】

- ・ 具体的なエピソードを基に、檜高校長先生の思いを話し合わせる。その際、思考スキル「関連付け」を活用し、イカチャートを用いて校訓と繋げながら考えさせることで、檜高校長先生の思いは現在の西条小にも生き続けていると感じさせる。
 (追求力)

【振り返り】

- ・ 檜高校長の思いを受けて、西条小学校の一員としてどのような思いをもったかを振り返らせる。
 (評価力)

〇ふるさと西条物語 ～西条盆踊り編～ (35)

課題の設定

- ・校区探検を通して出た疑問点を想起し、西条盆踊りについて知っていることをイメージマップにかく。(1)【思①】
- ・ゲストティーチャーから、西条盆踊りを踊っている様子を映像で見せてもらったり、盆踊を体験したりする。(2)【思①③】
- ・盆踊りについての疑問点や、盆踊体験で思ったことを整理し、グループの課題を設定する。(2)【思②】

情報の収集

- ・西条盆踊りの歴史や、当時の人々の考えについて調べる。(2)【思③】【学①】
- ・ゲストティーチャーから、盆踊りを復活させ、継承に向ける思いを聞く。(1)【知①】【思③】

整理・分析

- ・様々な立場の人々の視点に立って、西条の町を思う気持ちの共通点について話し合う。(1)【知②】【思④】
- ・集めた情報から、西条盆踊りの価値を考える。(1)【知①】

課題の設定

- ・ゲストティーチャーから、西条盆踊りの現状を聞き、新たな課題への見通しをもつ。(1)【思②】
- ・全国の盆踊りを広める取組を調べる。(1)【思⑤】

- ・全国の取組を基に、西条小学校の児童や保護者の方に盆踊りに参加してもらおう取組や準備する内容を決める。

(1)【思②】

本時 13/35

情報の収集

整理・分析

- ・これまでの体験や調査内容を基に、グループで情報発信の準備をする。(8)【思⑤】【学①】
- ・西条の町を支えてきた人々の気持ちを考えながら、学習発表会や、練習を行う。(8)【学①】【思⑤】
- ・ゲストティーチャーと盆踊りを練習する。(2)【思③】【学①】

まとめ・創造・表現

実行

- ・選んだ方法で情報を発信する。(時間外)【学①】
- ・「案内の手紙を書こう」【国語科】
- ・学習発表会で劇を発表する。(1)【学①】
- ・保護者・地域の方を呼んで「西条小盆踊り大会」を行う。(2)【学①】

振り返り

- ・西条小学校や西条盆踊りの価値をまとめる。(1)【学①②】

【課題の設定】

- ・事前に6年生の白壁の練習を見学させてから、ゲストティーチャーに盆踊りの映像を見せてもらうことで、白壁の曲と同じであることに気付かせ、盆踊りに興味をもたせる。(課題発見力)
- ・西条盆踊りを体験させることで、盆踊りの魅力を実感させ、盆踊りを残したいという意欲を高めさせる。(課題発見力)

【情報の収集】

- ・地域の方から提供していただいた資料を基に、西条盆踊りが始まった歴史を調べ、西条盆踊りには西条の町をよくしたいと考える檜高校長先生の思いが込められていることに気付かせる。(追求力)
- ・ゲストティーチャーから盆踊りへの思いを聞くことで、檜高校長の思いが現代まで引き継がれていることに気付かせる。(追求力)

【整理・分析】

- ・ベン図を用いて様々な立場の人々に共通する西条盆踊りへの思いを見出させることで、西条盆踊りは西条を支えてきた人達の思いが詰まっていることを理解させる。(追求力)
- ・調べた情報や盆踊り体験から、西条盆踊りの価値を再確認する。(追求力)

【課題の設定】

- ・ゲストティーチャーから、西条盆踊りの参加人数の推移を聞いたり、西条小学校児童の参加状況を聞いたりすることで、イメージとの「ずれ」を感じさせ、西条小学校の児童に西条盆踊りの魅力を知ってほしいという思いをもたせる。(課題発見力)
- ・全国の取組を手掛かりとして、西条盆踊りを広めるために自分達にできそうな方法を考えさせる。(課題発見力)

【まとめ・創造・表現】

- ・招待の手紙を書く際には、国語科の「案内の手紙を書こう」で学習した案内状の書き方と関連付ける。(追求力)

【振り返り】

- ・自己評価や、保護者の感想を聞いて学習を振り返ることにより、達成感を味わわせ、今後も西条盆踊りを継承するためにできることを考え、行動していきたいという思いを膨らませる。(評価力)

4 本時の目標

全国の盆踊りを広める取組を基に、西条盆踊りを保護者や西条小の児童に広める方法を決め、必要な準備について話し合うことができる。

5 本時の評価

評価規準	西条盆踊りを広めるために、どのような準備をしなければいけないかを話し合っている。
概ね満足できる児童の状況	・盆踊りカードを作りたいです。カードに載せる歌詞や衣装についてもう一度調べていかなければいけないと思います。

6 本時の展開

学習過程

展開	主な学習活動と予想される児童の思考	形態	教師の働きかけ ◎評価規準 ◇配慮を要する児童への手立て
つかむ	1 前時を想起する。(3分) <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・全国でも、盆踊りを広めるための取組が行われていました。 ・冬の盆踊り大会に来てもらうためには、どんな取組をするか考えなくてははいけません。 </div>	全体 ↓	<ul style="list-style-type: none"> ・盆踊りを広めるための取組が全国で行われていたことを想起させる。 ・考えの幅を広げるために、事前に盆踊りを広める全国の取組を調べさせておく。 ・冬の盆踊り大会に来てもらうためには、保護者や西条小の児童に西条盆踊りを広める必要があることを確認する。
	2 本時の学習内容を確認し、学習課題を設定する。(2分)	全体 ↓	<ul style="list-style-type: none"> ・西条盆踊りを広めるために、自分たちができる取組を考える必要があることを確認し、課題を設定する。
学習課題 西条盆踊りを、広める方法を決めよう。			
深め・拡げる	3 自分達でできる取組を考える。(10分) <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・盆踊りカードは自分達でも作れそうです。 ・盆踊り壁画は自分達では難しそうです。 ・グッズは自分達では作れないです。 ・動画は自分達でするのは、難しそうだ。 ・先生に録画してもらったら、動画もできそうです。学校のホームページに載せたり、校内放送で流したりできるかもしれません。 ・ポスターやパンフレットも自分達できそうです。 </div>	全体 ↓	<ul style="list-style-type: none"> ・スケールチャートを用い、全国の取組を「自分達でできる」「自分達では難しい」「大人の協力があればできる」に分類していく。 ・自分達ではできそうにないものでも、少し工夫したらできるものがないか考えさせる。
	4 行いたい取組を決め、グループに分かれる。(5分)	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・分類した「自分達でできる」「大人の協力があればできる」取組の中から、自分が行いたい取組を決めさせ、グループを作る。

5 全国の取組を参考にし、自分達がやらなければならないことの見通しもつ。(20分)

盆踊りカードグループ

- どのカードにも歌詞が載っているから、歌詞を調べる必要がありそうだな。
- 盆踊りの衣装が表紙になっているから、西条盆踊りの浴衣について調べよう。
- どこで配ったらいいのかな。

動画グループ

- 子ども達と保護者のコメントがあるね。保護者にインタビューしよう。
- 踊っている様子はどの動画にもあるから、僕たちが踊っているところを撮影したいです。
- そのためには、踊りを正しく覚えなさいね。

ポスターグループ

- 見る人の目を引くデザインを考えないといけないね。
- 日付や場所だけではなくて、会場の地図も載せてあるよ。
- 習ったローマ字を使えば、外国の人も読めるのではないかな。

パンフレットグループ

- 振り付けは手だけではなくて、足の動き方も載っているよ。
- 一つ一つの動きがイラストになっているけどかけるかな。写真にしたら分かりやすいかもしれないよ。
- 正しい振り付けをもう一度教えてもらおう。
- 盆踊りの歴史を詳しく調べて載せたいね。
- 三曲の歌詞を調べる必要があるよ。

6 本時の学習を振り返り、次時に繋げる。(5分)

学びを深めた児童の姿

- 私たちは「盆踊りカード」を作りたいです。カードに載せるために、三曲の盆踊りの歌詞を調べていこうと思います。また、盆踊りの衣装も載せたので、昔から引き継がれている浴衣の写真を見たり、保存会の人に実物を見せてもらえるようお願いしたりしたいです。

グループ

課題発見力引き出しポイント

〈活用させる思考スキル：関連付け〉

- 全国取組と、西条盆踊りを広めるための取組を関連付けて、必要な情報や準備を考え、見通しをもたせる。
- 作品を繰り返し確認できるよう、それぞれのグループに実物を用意する。

- 必要な情報について詳しく知るためには、どのような準備をしていけばよいのかを考えさせる。
 - イラストを描くのが難しい場合は、写真で提示する方法があることを助言する。
 - 「のっていること」「のせること」「計画」をホワイトボードに整理しながら話し合わせる。
- ◇どのような取組をすればよいか関連付けられない児童には、複数の作品を比較させ、共通点を見付けさせる。

↓

個人

- ◎西条盆踊りを広めるために、どのような準備をしなければいけないかを話し合っている。(ワークシート)

↓

全体

- 次時からは、それぞれのグループで必要な情報を調べたり準備をしたりすることを確認する。

深め・広げる

まとめ・つなげる

7 板書計画

9/12 (木) 西条に光をてらした人たち

学習課題 西条盆踊りを広める方法を決めよう

取組の写真

盆踊り壁画

動画

盆踊りカード

グッズ

パンフレット

ポスター

盆踊りカード		動画		ポスター		パンフレット	
のっていること	これからすること	のっていること	これからすること	のっていること	これからすること	のっていること	これからすること
<ul style="list-style-type: none"> 歌詞（資料） 浴衣のデザイン（アルバム） 学校の住所 コメント 	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞を調べる 浴衣の柄を調べる 学校の住所を調べる コメントを考える 	<ul style="list-style-type: none"> ほごしゃインタビュー 踊りの動画 踊りを教わる（保存会） 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの踊りを撮影する 保護者にインタビューをする 何をインタビューするか決める 踊りを正しく覚える 	<ul style="list-style-type: none"> 日付と場所 会場地図 キャッチコピー 英語 	<ul style="list-style-type: none"> 先生と日付と場所を相談する。 校内地図 ローマ字 	<ul style="list-style-type: none"> 手と足の振り付け写真 歴史 歌詞 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい振付をもう一度教えてもらう 振付の写真をとる。 歴史を調べる 歌詞を調べる